

ColorFlex® L2 Citrus クイックスタートガイド

A60-1021-651 ver. 1.0



世界における真の色の測定基準

HunterLab

A

装置のセットアップ

1. ACアダプタのプラグを、ColorFlex L2 Citrus の背面にあるポートに接続します。

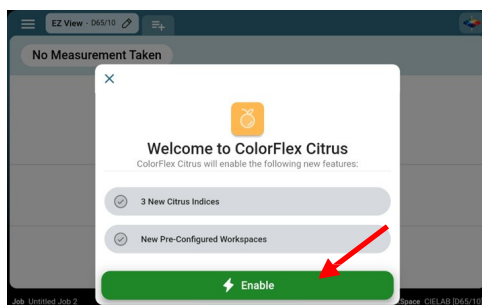


2. ACアダプターの電源コードを壁のコンセントに差し込んでください。
3. 機器背面のスイッチを使って、ColorFlex L2 Citrusの電源を入れてください。
4. Essentials ソフトウェアが自動的に起動し、「初回セットアップ」ダイアログが表示され、言語、地域、日付、時刻の設定を求められます。設定が完了したら、「完了」をクリックしてください。
5. 上記のセットアップが完了すると、機能を紹介する「ウェルカムウィザード」が表示されます。画面の指示に従って、ソフトウェアの操作に慣れてください。完了すると、装置は標準化の準備が整います。右上隅にある HunterLab アイコンをクリックすれば、いつでもウィザードを再実行できます。
6. (オプション) HDMIケーブルを使用して、モニターをColorFlex L2 Citrusに接続してください。

B

CITRUS ライセンスの有効化

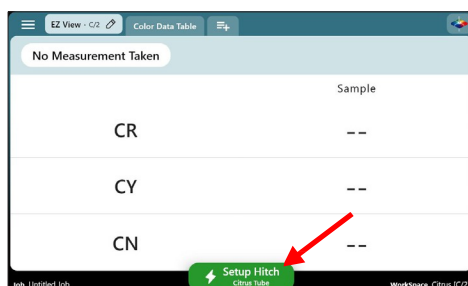
1. Citrusのライセンスファイルが入ったUSBメモリをColorFlex L2 Citrusに接続してください。EssentialsはUSBメモリ内のライセンスファイルを自動的に認識し、ダイアログを表示します。「有効化」をクリックして、ColorFlex L2 Citrus Essentialsをロードしてください。



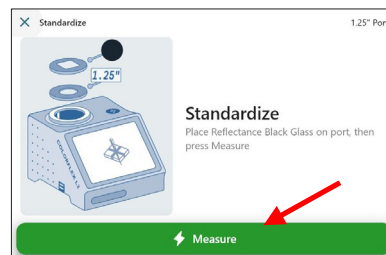
C

ヒッチ設定

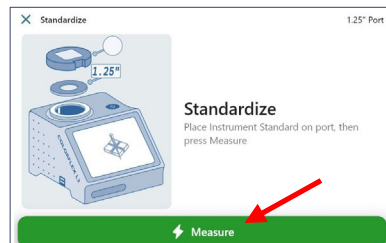
1. 画面下部の緑色のアクションボタン「SETUP HITCH」をタップします。画面の指示に従ってまず標準化を行い、その後『Citrus Standard』を参照してヒッチの設定を完了してください。



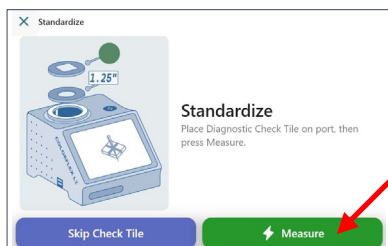
1. 1.25インチのポートプレートを取り付けます。センサーポートに「反射率ブラックガラス」をセットします。「MEASURE」ボタンを押します。



2. 指示が表示されたら、反射率ブラックガラスを外し、機器標準（ホワイトタイル）をポートにセットします。「MEASURE」を押します。



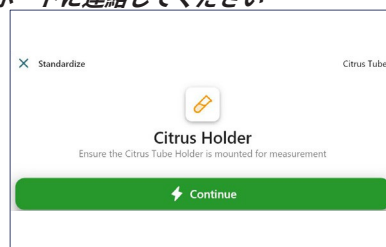
3. 機器標準（ホワイトタイル）を取り外します。次に、診断チェックタイル（グリーンタイル）をポートに置き、「MEASURE」を押して続行します。診断チェックタイル（グリーンタイル）の値は工場で設定されており、タイルの裏面にも記載されています。



オプション: 「診断チェックタイル」のテストをスキップするには、「SKIP CHECK TILE」をタップします。スキップすると機器の性能に影響が出る可能性があり、警告メッセージが表示されます。

注: 診断チェックタイルのテストに失敗した場合は、機器標準（白いタイル）、診断チェックタイル、および／または黒いガラスを清掃し、テストを再実行してください。問題が解決しない場合は、HunterLabサポートに連絡してください

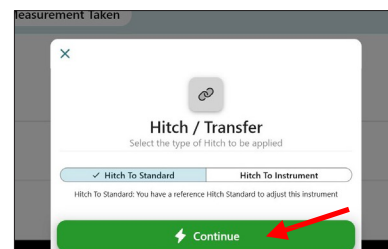
4. 標準化が正常に完了したら、1.25 インチのポートプレートを取り外し、測定用にシトラスチューブホルダーを取り付けてください。



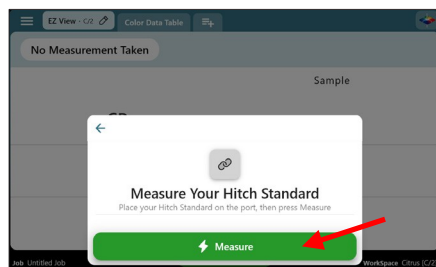
E

標準へのヒッチ

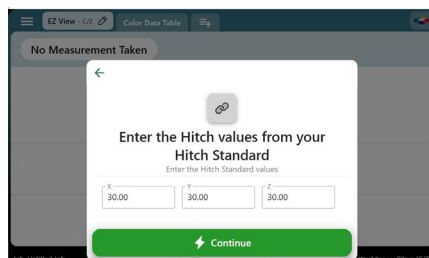
1. **[HITCH TO STANDARD]** を選択し、**[CONTINUE]** ボタンをタップします。「**HITCH TO STANDARD**」とは、基準値がすでに割り当てられているタイルを使用することを指します。「**HITCH TO INSTRUMENT**」とは、以前に別の機器で以前に測定されたサンプルを使用することを指します。



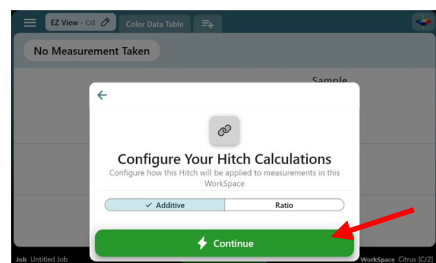
2. 柑橘類の標準試料を柑橘類用チューブホルダーにセットします。「MEASURE」を押します。



3. Citrus標準試料の値を入力します。



4. 「ADDITIVE Hitch Calculations」を選択し、「CONTINUE」を押します。

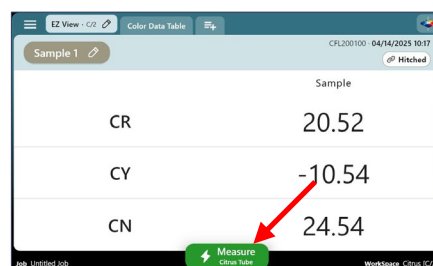


5. ヒッチを更新するには、右下のワークスペース名をタップし、「Edit Current Workspace」を選択して、「Standard & Tolerances」ステップでヒッチを編集します。

注: ヒッチの調整は、「ワークスペースの編集」／「規格と公差」に表示されています。

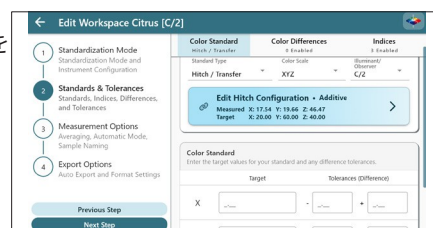
F 試料の測定

1. 試料を準備し、試験管に入れます。
2. サンプルをシトラスチューブホルダーにセットします。
3. 「MEASURE」を押します。



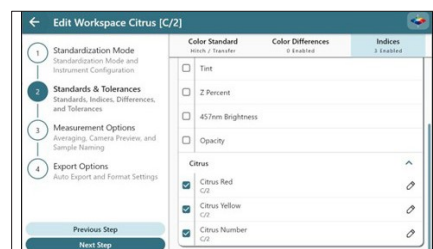
「Hitch/Transfer」標準タイプでは、数値標準を適用できます。

- 画面右下の「WORKSPACE」を押します。「EDIT CURRENT WORKSPACE」を選択します。「NEXT STEP」を押して「STANDARD & TOLERANCES」ステップに進み、Hunter Lab C/2で標準値と許容範囲を入力します。



Citrus 指数の設定方法:

- 「INDICES」タブをタップし、下にスクロールして「Citrus Scores(v)」まで移動します。希望するCitrusインデックスにチェックを入れます。鉛筆アイコンを使用して許容差を追加します。「絶対許容差」または「差分許容差」のいずれかを選択します。



単純な差異を表示するようにEZ VIEWを編集する

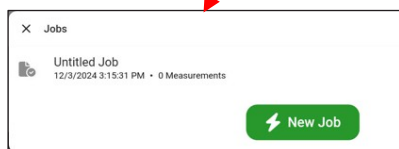
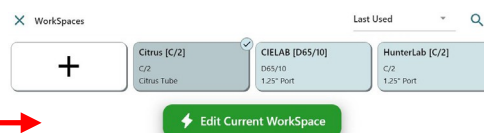
- メイン画面で、「EZ View」タブの横にある編集アイコンを選択します。次に、「DISPLAY OPTIONS」を選択します。「SHOW STANDARD」および「SHOW DIFFERENCES」の横にあるラジオボタンをクリックすると、単純な差分が表示されます。

	Standard	Sample	Difference
X	20.00	19.99	-0.01
Y	17.00	16.99	-0.01
Z	42.00	42.00	0.00
CR	--	37.76	--
CY	--	-188.28	--

ワークスペース/ジョブの変更または追加

- 画面右下のワークスペース名をタップして、ワークスペースを変更または新規追加します。ワークスペースダイアログに従って、差異や指標の編集、読み取りオプション、データエクスポートオプションなどを設定します。
- 画面左下の「ジョブ」名をタップして新しいジョブを作成するか、既存のジョブをタップしてジョブ名の編集、ジョブの削除・印刷、ジョブのエクスポート（xls、csv、またはpdfファイル）を行ってください。

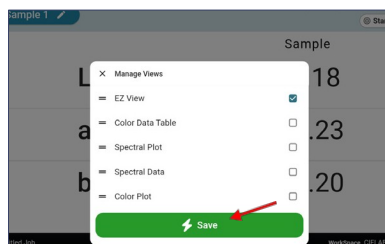
	Standard	Sample	Difference
CR	20.52	20.52	0.00
CY	-10.54	-10.54	0.00
CN	24.54	24.54	0.00



J

ビューの追加

1. 「EZ View」タブの横に  をクリックして、他のビューを追加します。目的のビューの横にあるボックスをクリック
ある希望するビューの横にあるボックスをクリックしてビューを選択します。「保存」を押します。

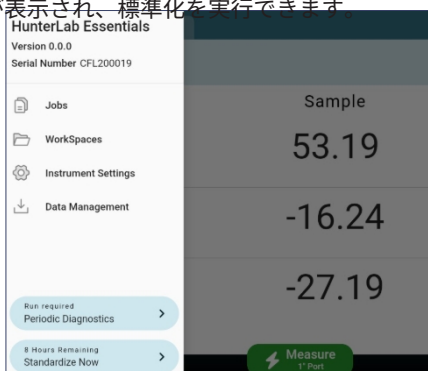


K

「システムメニュー」の詳細

画面の左上隅にある3本線のアイコンをタップして、システムメニューを起動します：

1. 「ジョブ」および「ワークスペース」は、WorkSpace/Job ダイアログを開く別の方法です。
2. 「機器設定」では、標準化間隔の選択、ColorFlex EZ 機器からの製品設定のインポート、日付/時刻の変更、言語の選択、画面の向き反転、およびセキュリティ設定を行うことができます。
3. 「データ管理」では、ジョブおよびワークスペースのファイルを.ezm2形式（外部アプリケーションでは読み取れません）でフラッシュドライブに保存できます。
4. 「定期診断」では、診断のステータスが表示され、ユーザーが診断を実行できるようになります。
5. 「標準化」では、現在のステータスが表示され、標準化を実行できます。



本装置の使用に関するより詳細な手順については、『ColorFlex®L2 Citrus ユーザーマニュアル』をご参照ください。

お使いの機器のメンテナンス、操作、修理に関する詳細については、support.hunterlab.com をご覧ください。

